

# 9・19高裁包囲から11・2労働者集会へ！ 支援する会 2025年度定期総会



## 動労千葉を支援する会 ニュース

2025.8.22  
408

動労千葉を支援する会事務局  
千葉市中央区要町2-18 DC会館

メールアドレス info@odoro-shien.site  
Tel 043-22027820  
Fax 043-22027820

〒口座番号 0015013192036

### 国鉄闘争の訴えは必ず拡がる

7月27日、DC会館において2025年度動労千葉を支援する会定期総会を開催しました。

山本事務局長が主催者あいさつ、運動方針案の提起を織田事務局次長が行いました。

自公の大敗と極右勢力の台頭という形で歴史的な転換期に入ったことを示した参院選の直後に行われた総会でもある、「この情勢のなかで国鉄闘争と11月労働者集会はますます重要な闘いとなった」「改憲が問題になっている今こそ国鉄闘争の訴えは必ず拡がる」「支援する会としてその闘いを牽引する先頭に立つ」決意が語られました。

### 全力で署名運動を

議案では、1047名解雇撤回闘争と国鉄闘争全国運動のとりくみ、動労千葉のストライキ支援をはじめとした

行動、国際連帯闘争のとりくみなどの経過が押さえられ、その上で闘いの基調として、

●今日の世界戦争情勢の切迫のなかで11労働者集会の発展をめざし、6・15国鉄集会でよびかけを発した動労千葉の決断に応え闘おう。

●9・19国鉄1047名解雇撤回裁判控訴審の高裁包囲行動を11・2集会の前哨戦と位置づけ、一回結審をうち破る大結集を実現しよう。そのために全力で署名運動を展開しよう。

●JR東の大再編攻撃と闘い、動労千葉労働運動を拡げ、組織拡大へ。という方針提起が圧倒的拍手で確認されました。

### 関委員長の提起

会計報告ののち、動労千葉から関委員長が提起が行われました。

関委員長は、11月集会に向け大結集を訴えるとともに、JRの組織再編・

全面外注化攻撃のなかで、下へ下へと丸投げ外注化したあげく一人の労働者が殺されたことを断じて許さないと語り、現場の仕事を軽んじて、安全も労働者の権利も投げ捨てるこの攻撃と断固闘う決意を表明しました。

## 各地から闘いの報告

新潟からはメッセージで物販オルグや署名のとりくみの地道で具体的な展開が報告されました。遠路、福島から参加された会員から、2012年から始まった署名を一人で始め、全国で10万筆を集める闘いに上りつめ、13年不当労働行為を認めさせた闘いの過程とこれからも署名を続けていく決意が述べられました。支援する会・木更津と久留里線と地域を守る会からは久留里線廃線化攻撃との闘いが報告されました。東京西部の会員からは、支援する会の元々の会員が地域で把握されていなかった経験から、人や組織のつながりをあらためて見直していく必要性が述べられました。神奈川支援する会、交流センター事務局からも署名運動を押し進める決意が述べられました。第2部の懇親会では、支援する会員と組合員がおおいに交流しました。

## 2025年11月労働者集会

# 第1回実行委員会開催

## 「9・19は11月集会の前哨戦」

8月2日、2025年の11月労働者集会第1回実行委員会が開催された。

冒頭、関委員長があいさつし、支援する会総会への結集のお礼を述べ、9・19高裁闘争を「11月集会の前哨戦」として結集を呼びかけた。また、参院選で示された怒りを11月集会にこそ結集させることが求められていると提起し、11月集会に向けた闘いを訴えた。

その後、改憲・戦争阻止！大行進呼びかけ人の高山弁護士、国鉄闘争全国運動呼びかけ人の金さん、山本さんがあいさつした。

## 11月集会を呼びかける決意

田中顧問はまず、動労千葉が責任主体となつて11月集会を呼びかける決意として、「われわれが作ってきた闘いを後退させるわけには行かない」「3労組で呼びかけられなくなったことを、飛躍への試練と受け止め、運動を強化し



た姿を見せつけよう」と訴えた。

参院選ではとりわけ外国人への排外主義が激しく宣伝された。労働組合にとつても、女性や外国人に対する攻撃、差別排外主義と対決できる運動になることが求められている。同時に、参院選の結果は、我慢ならない現状への怒りが政治的な形で動き始めたことも示している。「階級情勢は一変した」「勝負のときがやってきた」と11月結集へ労働

者に分け入って組織することが訴えられた。

今年初めて日比谷野音で労働者集会を開催した95年から30年の節目です。改めて94年9・18集会での故・中野顧問の「従来の闘い方ではダメなんだ。労働運動の本当の闘う勢力を結集し決着を求めていこう」という提起を紹介し、原点に戻って闘いを組織することを訴えた。また、「JRにおける大再編攻撃と労働政策の歴史的な転換攻撃との対決が始まっている。幕張車両センターにおける労災死亡事故はJRとCTSが業務外注化とコスト削減、安全切り捨てを進めてきたことが招いた必然的な結果だ。闘争体制を確立し、争議行為の事前通知を行って、全面外注化との闘いにたちあがる」決意を語った。

## 活発な討論行われる

討論においては、全学連が「動労千葉の決意に添えて11月集会の成功を何としてもかちとる」と決意を述べた。また東京労組交流センターからは、11月集会大結集へのカギとして9・19闘争へ1千人の結集を実現しようと呼びかけられた。支援する会の仲間からは、

9・19に向けて署名街宣の統一行動(8月22日〜9月7日)が呼びかけられた。郵政の仲間は、点呼問題を郵政民営化―大合理化の矛盾の爆発として明らかにし、現場に責任を転嫁しようという攻撃との対決に入っていることを語った。学生に対する弾圧を粉砕する決意、集会ビラのスローガンへの意見、11月集会の獲得力についてなど、活発な討論がかわされた。



国鉄1047名解雇撤回 高裁署名  
8/2街宣行動で署名100筆

## 国鉄1047名解雇撤回 控訴審第1回

日時：9月19日(金) 15時30分～

場所：東京高裁429号法廷

## 東京高裁包囲デモ

集合：13時30分 日比谷公園霞門

裁判後、報告集会を予定

実行委員会終了後、動労千葉を支援する会の呼びかけで街宣行動が行われた。支援する会の仲間の訴えに次々と署名が集まり、1時間ほどの街宣行動で100筆の署名が寄せられた。国鉄1047名解雇撤回にむけて署名運動を強化しよう。9・19高裁包囲デモ・裁判闘争を大結集で闘いぬこう。

# 幕張車両センター労災死亡事故

## 「つつ 技術 持

## 会社 委託 「!? CTSとの団体交渉

動労千葉は7月16日、幕張車両センターで6月21日に発生した労災死亡事故について、CTS（千葉鉄道サービス）と団体交渉を行った。

### 不誠実で無責任！

何とCTSは、職場に張り出されている「速報」すら団交に出さず、当該の方が亡くなったことにも触れない。

## 7/16団体交渉での主なやりとり

組合「時系列で事実経過を明らかにすること」

→CTS「当社が委託している業務に従事していた作業者が体調不良で救急搬送された」

組合「委託内容と作業量は？」

→CTS「秩父商会とは22年11月から契約」

組合「さらに丸投げ外注化されたことを把握していたのか」

→CTS「当社は秩父商会に依頼した」

22年のCTSから秩父商会への外注化当時から再度丸投げ外注化されていたのに、そのことにも頑なに触れようとしない。あまりにも不誠実で無責任だ。いったいCTSは、一人の労働者を犠牲にしたことを何だと思っているのか。あまりにも不誠実で無責任だ。いったいCTSは、一人の労働者を犠牲にしたことを何だと思っているのか。

### 衝撃的な証言が！

翌17日には、労働委員会における証人尋問でCTSの笹本総務部長は衝撃的な証言を行った。今回の事態について、「しっかりと技術を持った会社（秩父商会）に委託した」と証言したのだ。実際には、業務はさらに丸投げ外注化され、秩父商会は現場にすらいなかった。そして「5名中2名がタイミー労働者」という中で、初めて作業に入った労働者が犠牲にされたのだ。それをすべて知りながら、「しっかりと会社に委託した」など、どうして口にする

ことができるのか。

### 信じ難い無責任「これこそ本質

問題の根本は、JR東日本から始まる無責任きわまりない丸投げ外注化であり、多重下請け構造にある。この信じがたい無責任体制こそ、外注化の本質だ。その結果、現場で働く労働者が犠牲にされたのだ。

外注化とその無責任体制が蔓延すれば、鉄道の安全が破壊されるのは当然だ。すでにJR東では東北新幹線をはじめ深刻な事故が繰り返されている。7月14日にも、JR東海・大井車両基地で感電死亡事故が発生している。

しかし、JR東は来年4月から機能保全を含めた検修業務の全面外注化に踏み出そうとしている。さらに、「業務融合化」と称して鉄道の各系統の専門性を解体して、「何でも屋」にする攻撃を進めている。JR・グループ会社の仲間全体を「スキマバイト」のように扱おうというのだ。

こんなことを進めれば、どんなひどい事故が起きるか分からない。労働者の権利も安全もないがしろにする鉄道の業務の外注化は絶対に許してはならない。

# JR南武線 ワンマン化で遅れ2倍に

25年8月9日 神奈川

## ワンマン化で遅延拡大

JR南武線



ホームドアが新設されたワンマン運転がはじまっているJR南武線。横浜市鶴見区の矢向駅

ワンマン運転を春開始したJR南武線で、朝の通勤時間帯の遅れが拡大したと、JR東日本横浜支社が調査で8日明らかにした。導したドア開閉システムの動作が遅く、各駅で従来約数秒ずつ余計にかかり、全線で10分以上の遅延を生じる例が増えた。今秋以降、車両の改修などの対策を進める。南武線は3月15日のダイヤ改正で車掌業務を廃止し、運転士が運転のほかドアの開閉を担

## 車両など改修へ

通勤時間帯10分以上も遅延が拡大したと、JR東日本横浜支社が調査で8日明らかにした。導したドア開閉システムの動作が遅く、各駅で従来約数秒ずつ余計にかかり、全線で10分以上の遅延を生じる例が増えた。今秋以降、車両の改修などの対策を進める。南武線は3月15日のダイヤ改正で車掌業務を廃止し、運転士が運転のほかドアの開閉を担

つ、労働人口の減少を危惧えた施策で、首都圏の主要路線への本格導入はJR東の初めて。横浜支社によるとワンマン化後、利用者から「遅延が増えている」との苦情が増えた。4、6月に調査したところ、列車が停止してからドアが開くまでの時間は車掌による操作比べ、数秒増えていた。電車のドアとホームドアを連携して開閉する車両システムの仕様が原因としている。

混雑率の上昇傾向も挙げ「乗換駅で特に時間を要する」と説明「率は公表していない」（同支社）が、国土交通省の2023年度の調査では、武蔵中原〜武蔵小杉間、午前7時半〜8時半は1.6%と全国的にも高水準だった。同支社は今秋までに車両システムを改修し、ドアが開く時間を短縮するほか、発車メロディの音を上上げる。運行ダイヤは「ワンマン化の際に停車時間を長めに定めた際にもある」とする一方で、対策の効果を見極め、見直しも検討する」とした。ホームの駅員配置や、車掌業務の復活はなし（斎藤 大起）

昨年11月、JR東は首都圏の主要線区7路線でのワンマン導入を発表した。今年の3月ダイヤ改からは常磐線と南武線でのワンマン化が強行されている。

## 「遅延が増えた

ところが南武線では、利用者から「遅延が増えた」という声が多く寄せられるようになりました。横浜支社も遅延状況を確認せざるをえなくなりました。

## JR東日本が新たにワンマン運転を計画している首都圏主要線区



の結果、4〜6月の遅延状況を前年と比較すると、特に朝の通勤時間帯で遅延が増えていると発表した。具体的なデータは明らかになっていないが、「10分以上の遅れが前年同期比で2倍以上」「遅延の発生した日数には変化がなく、遅れの幅が長くなっている」とされている。

## 原因は明らかにワンマン化

横浜支社は原因について、「車両の仕様が変わってドアが開くまでの時間が延びた」「放送が車両側面のスピーカーからになって聞こえにくくなり、乗降時間が長くなった」「混雑率が上昇した」

などといっている。そして、「ワンマン化を見直す考えはない」と語っている。しかし、原因がワンマン化であることは、誰が見ても明らか。なぜ、こんなひどいごまかしをするのか。

## 川崎市長も怒り

福田紀彦川崎市長は、「遅延が多くなっている状態は市としても憂慮している。これからの影響が続くようでは大変よろしくない」と怒っている。

SNSで「南武線遅れ」と検索してみると、乗客や踏切利用者からの苦情があふれている。

◆南武線沿線住民です。ダイヤ改正前までは毎日10分遅れが常態化する路線ではなかったです。

◆南武線のワンマン化は高架化の後にやるべきだった。開かずの踏切がさらに酷いことになっている。駅の滞在時間が伸びたら当然こうなるよね。

◆南武線遅れのため、8・25〜8・40の間、向河原駅前踏切は連続遮断。久しぶりの15分越えでした。その前後も開く時間が短く、幼稚園バスはUターンしていました。

# 外房線と地域を守る会定期総会を開催

来賓として、いすみ市長、いすみ市議会議長、勝浦市議会議長、内房線と地域を守る会、久留里線と地域を守る会が出席

7月20日、外房線と地域を守る会の第6回総会が勝浦市内で40名が参加する中で開催された。

総会は、久留里線・久留里く上総亀山間をJRが「バスへのモードチェンジ」を行うとして君津市の交通会議で検討が行われている状況の中で、あらためて内房線と地域を守る会、外房線と地域を守る会、久留里線と地域を守る会が連帯して廃線化阻止に向け取り組むこと、さらに、この間のダイヤ改正で廃止になった通勤快速や特急の復活、ホーム段差解消を含めた安全対策の実施等を求めて活動を強化することを確認した。

総会は、冒頭、早川会長があいさつに立ち、「初代会長の藤平さんが3月に逝去された。藤平さんの遺志を引き継いで今後も活動することを誓いたい。われわれは、久留里線の廃線反対を取り組み、昨年のダイヤ改正で廃止になった通勤快速や特急の復活を求めて

JR千葉支社への要請行動を行い、さらに、未だ復旧していないいすみ鉄道への要請を行うとともに、夷隅郡市2市2町と鴨川市の首長と面会して意見交換を行うなどの活動を行ってきた。

ワンマン運転の安全性の問題やホームの段差解消、駅待合所の撤去等の問題を含め、今後もJRへの要請を行っていききたい。引き続き夷隅郡市2市2町と鴨川市との連携を図り取り組みを続けたい」と訴えた。

来賓あいさつでは、最初に、いすみ市・太田市長から、「皆さんと手を組んでJRにモノをいうことが必要だと考えている。外房線が一つの線路でありながら上総一ノ宮で分断されていることは悲劇であり、憤りを感じる。今、久留里線の廃線が問題になっている。久留里線を守るために地域が連携して頑張らしましょう」との力強いあいさつが行われた。

続いて、いすみ市議会・久我議長、



勝浦市議会・戸坂議長、内房線と地域を守る会・梅澤代表、最後に、久留里線と地域を守る会・三浦代表が挨拶。「上総地区の沿線自治会が行ったアンケートでは半数が『久留里線存続』だった。君津市長はその声を無視して廃線に賛成している。許せない。今後、久留里線・久留里く上総亀山間の存続に向け、内房の会、外房の会とともに頑張る」との決意を語った。